

(公社) いわき青年会議所 専務理事 意見書 (案)

専務理事 飯野 光長

1 いわき J C は統合より 1 5 年の節目の年を迎え先輩諸氏の創始の想いを継ぎ運動を発信
2 してまいりました。しかし、会の組織力は会員の在籍年数の短期化傾向により学びを得る
3 機会が減少し、低下していることが懸念されます。組織力の低下は法人運営を行う人財不
4 足に陥るだけでなく、運動発信においても阻害される要因になり得ます。この危機的な
5 現状を打破し我々の運動が正しく、効果的に発信できる環境を構築しなければなりません。
6 まずは、いわき J C が行う運動発信や事業を取り決める機関である、総会や理事会等の
7 諸会議の厳格かつ円滑な運営を行い、運動が効果的に発信できる環境を構築していきます。
8 そして、公益法人格の維持・継続をするために業務執行理事として法人運営のみならず、
9 事業においても財務運営の管理とコンプライアンスの助言を重点的に行い、公益性・透明
10 性を持った運営や事業ができるようにしていきます。さらに、将来的に法人格を維持して
11 いく、次代を担う人財の育成を行うために、法令・定款や諸規則の学びやコンプライアン
12 スを学ぶ機会として、諸会議の運営やセミナー等の機会を通じ人財の育成と拡充とするべ
13 く学びの場を提供していきます。また、効果的な運動を展開するために全会員が組織の仕
14 組みを深く理解していなければなりません、そのために規範意識の醸成とシステムを学ぶ
15 機会を諸会議から提供する環境構築に努めます。そして、今年は新たな取り組みとして国
16 内外の諸団体や日本 J C が推進する S D G s を L O M での運動にも関連していると意識し、
17 発信することで従前よりも効果的に運動が発信できる環境を構築することができます。
18 いわき J C の組織力向上は運動、そして活動を円滑に行えるだけでなく、法人の運営
19 に携わる人財の拡充にも繋がり、次代を担う人財の育成も成されます。組織力の向上と人
20 財の拡充はいわき J C の発展のみならず、活気に溢れた持続可能ないわきへと進化します。